

香川県の地震

令和7年（2025年）9月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和7年（2025年）10月7日）	・・・	2
--------------------	-----	---

地震一口メモ

令和7年11月5日（水）に緊急地震速報の訓練を行います	・・・	3～4
-----------------------------	-----	-----

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

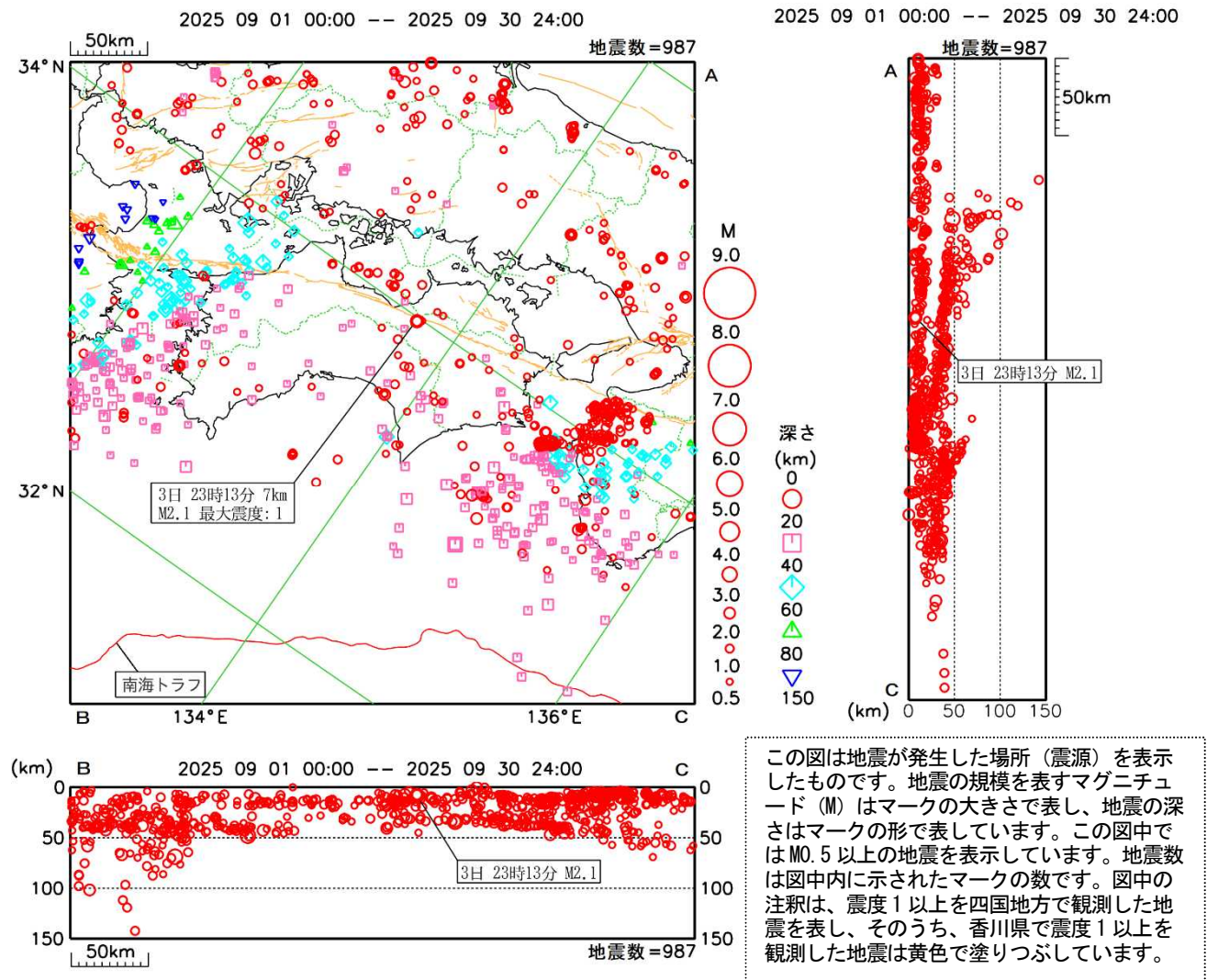
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2025 年 9 月

◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした（前月は1回）。

四国で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした。

3日 23時13分 徳島県北部の地震（深さ7km、M2.1）により、愛媛県四国中央市で震度1を観測しました。

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

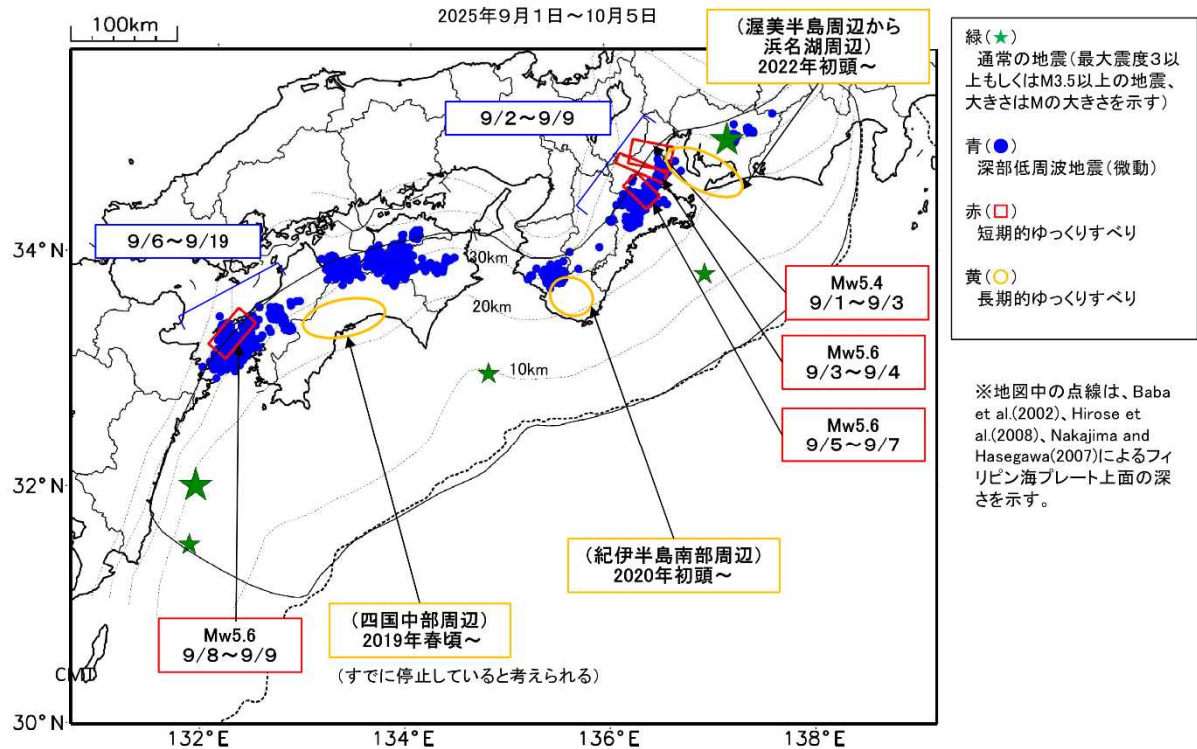
令和7年(2025年)10月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が高い(詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版一部改訂)」参照)と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について ー最近の南海トラフ周辺の地殻活動ー

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2510/07b/nt20251007.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

令和7年11月5日（水）に緊急地震速報の訓練を行います

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。気象庁では「津波防災の日」・「世界津波の日」への取組の一環として、令和7年11月5日（水）10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

○訓練の方法

訓練参加機関（国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等）が行う緊急地震速報の放送・報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身の安全を守る行動訓練を行ってください。携帯電話の緊急速報メール／エリアメールで訓練用の緊急地震速報が報知されることはありませんが、専用受信端末の訓練機能や気象庁が提供する訓練用動画、スマートフォンの機能等を活用して避難行動をとる訓練を行うことができます。

○緊急地震速報を受けた時の行動の具体例

緊急地震速報が発表されたら

あわてず、まず身の安全を！

緊急地震速報を見聞きしたとき、揺れを感じたときは
危険な場所から離れるなど、状況に応じて身の安全の確保を

屋内では

- ・頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- ・最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外では

- ・ブロック塀の倒壊に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意



車の運転中は

- ・急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



⚠️ 震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります

Yahoo! ニュース
オリジナル
監修：気象庁

※Yahoo! ニュース制作図解・商用利用不可・図解を分割編集しての使用はできません。

○訓練に関する留意事項

- ・訓練報は、テレビやラジオ等の放送波、携帯電話（スマートフォンを含む）による一斉同報機能（緊急速報メール／エリアメール）では報知されません。ただし、一部の市町においては、CATV放送やコミュニティFM放送による訓練報の放送や、緊急速報メールによる訓練用の避難指示等の配信が行われる場合があります。訓練の内容は、各市町にご確認ください。
- ・気象・地震活動の状況等によっては、訓練報の配信を急遽中止する場合があります。なお、中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。
- ・気象庁からの訓練報を利用しない機関では、10時00分頃以外の任意の時間に訓練が実施される場合があります。

○シェイクアウト訓練について

地震から身を守るための3つの安全行動（①姿勢を低く、②頭を守って、③揺れが収まるまでじっとする）を各人がいる場所（職場、学校、外出先等）で約1分間行うという訓練です。緊急地震速報の報知音を合図に、このような訓練もやってみましょう。



安全確保行動1-2-3（出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議 <https://www.shakeout.jp/>）

香川県は、緊急地震速報の訓練にあわせて香川県シェイクアウト（県民いっせい地震防災行動訓練）を実施します。訓練にあわせて避難訓練や消火訓練、備蓄品の確認などの「プラスワン訓練」もお願いしています。詳細は下記ページをご覧ください。

令和7年度香川県シェイクアウト（県民いっせい地震防災行動訓練）の参加者募集について
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kikikanri/sogo/koho/shakeout.html>